

地域再生計画（地方創生道整備交付金）事後評価調書

都道府県名	愛知県	事業実施主体	愛知県、愛西市、弥富市	地域再生計画名	愛知県、愛西市、弥富市「自然と都市が調和する心豊かに暮らせるまちづくり計画」
計画期間	平成27年度～令和3年度	評価責任者	愛知県海部農林水産事務所長、愛西市産業建設部長、弥富市建設部長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
		基準年度	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数			
指標 1	歩道設置、道路拡幅及び交差点改良等による歩行者・自動車共に安全に通行できる道づくりの促進	3箇所	H26	2箇所	H29	3箇所	0箇所	R1	0箇所	○	5	4	道整備交付金の活用により、市道の歩道設置、道路拡幅及び交差点改良を実施し、危険箇所を減少させることができたため目標を達成できた。
指標 2	道路施設における老朽化対策の推進	0.0%	H26	50.0%	H29	0.0%	100.0%	R1	100.0%	○	5	4	道整備交付金の活用により、市道の老朽化対策を推進し、老朽化した箇所を減少させることができたため目標を達成できた。
指標 3	広域農道の整備による農産物輸送効率の向上	16分	H26	16分	H29	16分	11分	R3	15分	△			地元や関係機関との調整や現場条件による問題から、工事費の増嵩があり一部区間の完成にとどまったが、一部開通したことにより輸送効率の、利便性は向上した。未整備区間については、引き続き別計画により整備を行い早期完了を目指す。
指標 4	担い手への農地の利用集積数	420ha	H26	435ha	H29	630ha	450ha	R3	739ha	○			H28に農地中間管理事業を積極的に活用した効果もあり、農地の利用集積が進み目標を大きく達成することができた。
指標 5	交流人口の拡大	850千人	H26	930千人	H29	893千人	971千人	R3	974千人	○			広域農道周辺で鶴戸川・三ツ又池釣り大会などのイベントが行われたことや道の駅の評判が広まった効果もあり愛西市204千人、弥富市770千人の観光客の入り込みがあり、目標を達成できた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	1箇所	-			広域農道等が整備されることにより、集出荷施設の集約化、特化が進められるようになり、「れんこんセンター」「イチゴセンター」など、特産物の特性に対応し、かつ非営農者にも宣伝効果のある施設が築造されている。

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度 (H29)	最終実績	
特別措置を適用して行う事業	市道事業	1.5km	0.3km	1.31km	整備量としては計画の1.5kmに対して1.31kmとなり実績が減少しているが、これは、指標2の老朽化対策の推進の延長が減少したことによるものである。計画では、大型車の交通が多い区間内、老朽化の進行も見込んで計画していたが、大型車の通過交通の減少などにより老朽化が見込みより進行しなかったため、老朽化対策が必要な最小限の延長を修繕した。そのため、老朽化対策箇所の延長は減少しているが、残事業はなく必要な老朽化対策を実施できた。
	広域農道事業	1.3km	1.3km一部	0.6km	整備量1.3kmのうち0.6kmは完成し、供用開始しているため目標は達成した。残整備量の0.7kmについては、地元調整の遅れにより開通しなかったが、路体までは完成しており、約90%程度進捗、残りは舗装工及び安全施設等の付帯工のみとなっているため、概ね達成することができている。地域の方の全線開通への期待は大きく、引き続き別計画にて早期完了を目指しており、令和5年度には工事を完了し、令和6年度に地元や関係機関との調整を終えることで目標を達成できる見込みである。
その他の事業	佐屋中部地区地域用水環境整備事業	ゲノタ幹線水路の管理道整備と水辺散策空間の整備			整備の進捗に若干遅れはあるが、概ね完了しており令和4年度までに全て完了する見込みである。本事業により、排水路及び周辺農地の保水管理の充実や地域住民の憩いの場の創出に寄与した。
	名古屋港鍋田ふ頭地区整備事業	岸壁、泊地、航路及び連絡道路の整備			岸壁、泊地、連絡道路、航路の整備等を実施した。本事業により、増加するコンテナ貨物に対する既存施設の能力不足を解消するとともに、海上及び陸上交通の物流効率化を図り、地域経済の発展に寄与した。
	五右地区ほ場整備事業	長らく未整備であった農地の区画整理を行うもの。			若干の遅れはあったものの、令和元年度には事業が完了した。ほ場整備や周辺地域の整備を一体的に行ったことで、営農の効率化や地域の生活環境の向上に寄与した。
	単独土地改良事業	市町村、土地改良区等が申請し、愛知県が補助する農業農村整備事業			県営事業や国営事業で採択されない小規模で単年度完了の事業であるが、積極的に活用することにより、営農の効率化や農業用施設の適切な維持管理等に寄与した。
多面的機能支払交付金	地域が共同活動する際に農業農村が持つ多面的機能を活用する際にかかる費用を交付する事業			農地、水路、農道等の適切な保水管理のために地域住民が共同で行う草刈り、水路の泥あげ、農道の補修や、農村の環境を保全するための植栽や生き物調査といった活動に対し支援を行うことで、営農環境や農村の生活環境の維持・向上が図られた。	
計画外で独自に実施した事業	鶴戸川・三ツ又池釣り大会	生態系、農業用施設の理解を深めるイベント			農道や農地、農業施設が存在意義、農業用施設がはぐくむ生態系への理解を深めてもらうことを目的とし、一般市民を対象に、広域農道に隣接する農業用排水路等で釣り大会を開催した。平成27年度令和元年度までの鶴戸川・三ツ又池釣り大会では毎年100人程度が参加した。このようなイベントの実施により、農村地域の活性化にも寄与している。

④評価方法 「自然と都市が調和する心豊かに暮らせるまちづくり計画」事後評価委員会を開催し、最終目標の実現状況に関する評価・検討を行った。

⑤事後評価の公表方法 愛知県、愛西市及び弥富市のホームページ等で公表。

⑥計画全体の総合評価 本地域再生計画は、地域の活性化を図るため、道整備交付金を活用した効率的な市道と広域農道の一体的な整備を図るものであるが、数値目標は概ね達成することができた。一部未達成となった「広域農道の整備による農産物輸送効率の向上」は次期地域再生計画に沿って引き続き道整備交付金を活用しながら取り組みを進める。

⑦今後の方針等 本地域再生計画の道整備交付金を活用した事業の成果により、基幹交通の整備が図られ農業を取り巻く環境及び観光客の交流人口は一部改善されたが、広域農道の整備進捗は遅れており依然厳しい状況も見受けられる。今後さらなる地域課題の克服のために、次期地域再生計画に沿って引き続き道整備交付金を活用しながら、市道、広域農道の一体的整備を行うことにより安全で安心な環境を整え、自然と都市が調和する心豊かに暮らせるまちの実現を目指す。